

感心、ものづくりの原点を探る旅～創意工夫に挑む絹産業の技術物語～

■ストーリーの象徴的なイメージ



■ペルソナ(主なターゲット層)



Bさん(55歳)
中堅製造業に勤務
(2部上場)
年収は780万円

- ・ 会社では管理部長として社内調整や教育研修などを担い、海外の工場との折衝も守備範囲である
- ・ 製造現場も営業も経験したので、一通りのことは判るのだという自負心がある
- ・ 歴史が好きで、登場人物をついビジネスにあてはめてしまう傾向がある。
- ・ 最近のテレビドラマや本から、日本の産業構造を考えるようになり、明治の人の志を意識するようになった。
- ・ 自分もあの時代に居たらどんな行動をしていたのかと思う時がある。
- ・ 社内研修の一環で若い社員に志やものづくりを理解させられないかと思っている。

■経験ストーリー 中堅製造業の部長が、新入社員たちを連れて、ものづくり日本の技術開発の原点を探る旅に行く。

上州・武州を巡る 絹遺産の旅
感動のものづくりの原点を探る 産業体験

ものづくり日本
その精神を学ぶための
「ものづくり研修」に選んだのが 上武州の地

富岡製糸場 (富岡市)
まず 富岡製糸場へ

富岡製糸場 (富岡市)
一同は 高水準の機械に感心!

旧日本煉瓦工場(ホフマン輪窯6号窯)
(深谷市)
旧日本煉瓦工場は日本独自で煉瓦を生産した工場

深谷第一記念館 (深谷市)
ここは 深谷第一の出身地
彼は日本の近代国家の礎を築いたひとり

鎌進社 (本庄市)
若者たちが学んだ 鎌進社 履物製法を見学

高山社跡 (藤岡市)
独自の蚕の飼育方法を産み出した「高山社跡」
<世界遺産>

荒船風穴 (下仁田市)
一同は 蚕種保存していた「荒船風穴」へ
<世界遺産>

碓氷第三橋梁(めがね橋)
(安中市)
さらに 碓氷線の橋梁 碓氷めがね橋にも使われていた

生糸に掛ける思いが 日本を大國に変え
ものづくり日本の始まりが ここにあった

上武州の優れたものづくりの精神に触れた
産業体験の旅

よし 来年の研修も ここにしよう!!

旧深谷第一記念館

先人から現代の大人たちへ
そして子供たちへ伝える 上武州・絹物語